

令和5年度 粟ノ保小学校だより

令和5年7月4日 NO.8



# ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校  
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 心の笑顔のために】

## ◇授業参観・給食試食会・CAP のと講習・救急救命法◇6/23 (金)

今年度2回目の授業参観でした。保護者も参加しながら授業している学年もあり、粟ノ保っ子の頑張る姿が見られました。また、参観前・参観後は、1年生、4年生、6年生保護者対象にそれぞれ標記の会がありました。保護者の皆様、参観ありがとうございました。



## ◇クラブ活動◇6/16(金)

4年生～6年生は、クラブに所属します。時間は年間10時間程度実施する。クラブをする際は2時間続きで行う。また、本校では、クラブの講師を地域の先生にお願いしています。

今年も引き続きお世話になります。ご指導お願いします！



裁縫 井表登喜美氏



ソフトバレー 高田 英治氏



茶道 川畑 朝子氏



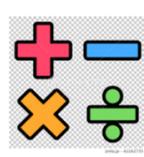
料理 高田 順治氏  
ホットドックづくり

裏面あります

## ◇全校集会：校長の話◇7/3(月)

「ひまわり憲法」のま「まわりを思いやる心」について話をしました。

いよいよ7月です。学習のまとめと同時に、心や体の成長について振り返りをお願いしました。どんな学年に成長できたのかを振り返ってほしいと伝えました。なぜなら、学校は集団生活の場であり、友だちと一緒にするのは学び・気づき、そして友だちがいたからこそその成長があったはずだからです。校長から「思いやり算」について紹介しました。

<p>がっこう しゅうだんせいかつ 学校は集団生活</p> 	<p>たし算<sup>さん</sup> + ひき算<sup>さん</sup> - かけ算<sup>さん</sup> × わり算<sup>さん</sup> ÷</p> 	<p>たし算<sup>さん</sup> + → たす<sup>たす</sup> 助けあうこと</p> 
<p>ひき算<sup>さん</sup> - → ひきうけること</p> 	<p>かけ算<sup>さん</sup> × → こえ<sup>こえ</sup> をかけること</p> 	<p>わり算<sup>さん</sup> ÷ → わ<sup>わ</sup> 分かちあうこと</p> 

4つの「思いやり算」が行動できたら、すばらしい学級ですよ。一人一人の成長が合わされば、すばらしい粟ノ保小学校になります。

えがお がっこう  
笑顔のあふれる学校



## ◇校長雑感◇

4年教室の授業の様子を見に行ったときです。「校長先生。玄関にあるトロフィを調べたいので、ケースのかぎを開けてくれませんか?」とお願いされました。どうやら、国語の学習で「新聞を作ろう」という学習をしていて、調べたいようでした。校長は即決で「いいですよ」と返事をしました。後日、調べるためにかぎを開けました。私も初めてです。粟ノ保は玄関前の中央階段の手すりも、建て替え前の歴史を刻んだ旧校舎の階段手すりを 2022.2.2 に移設しています。

さて、中を確認すると、県内屈指のバスケット強豪チームであることがすぐに分かります。賞典ケースには、バスケット関係のものが大半です。さらに、市内のわんぱく相撲大会、ソフトバレー、PTAの交通安全功労や防犯見守り活動功等ありました。これらは、学校の文化歴史というワードが浮かびます。学校文化とは、それぞれの学校において在校生や卒業生、先生がたによって培われてきた、学校ごとの特徴を総称するものといえるでしょう。粟ノ保小の歴史を感じられる時間となりました。



集計結果：トロフィー（90）個、盾（50）個でした。